



広画角眼撮影装置の 新しい展開



日時 2011年1月28日(金) 12:30-13:30

会場 第9会場 (国立京都国際会館 1F さくら)

座長



木内 良明 先生

(広島大学大学院 医歯薬学総合研究科
視覚病態学教室 教授)



日下 俊次 先生

(近畿大学医学部堺病院 眼科教授)

RetCamは接触型広角眼底デジタルカメラで、未熟児網膜症を始めとする小児網膜疾患の眼底撮影に威力を発します。また、蛍光眼底撮影もできますので、小児網膜の病態理解を深めることができます。しかし、それだけではありません。RetCamを大人に使うこともできます。

今回のセミナーではRetCamの様々な使用法を紹介します。まず、オーガナイザーの一人である日下先生が第三世代のRetCamの概要、小児網膜疾患への使用例を紹介し、佐々木先生にスリット写真でも撮影が難しい隅角部撮影をRetCamで行う方法を紹介して頂きます。最後に有村先生に成人に対する使用例、特に広角に撮影ができる利点を生かした蛍光眼底撮影についてお話して頂きます。

RetCamって何?聞いたことあるけど詳しく知らない?未熟児網膜症専用のカメラでしょ?導入したいけど、用途が限られているし…。そういった方々に今回のセミナーを是非聴講して頂き「目から鱗が落ちる」体験をして頂きたいと思います。

演者

◆ RetCam で楽しくなる小児網膜診療

日下 俊次 先生 (近畿大学医学部堺病院 眼科教授)



◆ 何と！前眼部・隅角も RetCam

佐々木 崇暁 先生 (広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 視覚病態学教室 助教)



◆ 子供だけではもったいない！RetCamの応用法

有村 英子 先生 (近畿大学医学部堺病院 診療講師)